

## コロナ禍に思う（1）

コロナ禍の中、生活・仕事、それぞれの人にとって大変な状況です。この状況は、良くも悪くも「社会というものは予定調和では全くない」事を思い知らされたように思います。

日常生活は大きく変わり、様々な人達に大変さが覆いかぶさってくる一方、これまで以上に、この社会が「おかしい？」と、気が付き始めました。

例えば、私はITが進んでいると錯覚していたこと。教育現場にも公官庁にも政治家にもITを使えない人が大勢いる。

ハンコ文化が大手を振っているこの社会。スピーディーに進まない。

医療は技術的にも、ベッド数なども充実していると思っていたが、医療費削減で病院を統合する政策を進め、十分ではなかった。

「おかしい？」が、社会の流れを変えるきっかけになると思われます。社会は大きく変わらざるを得ないし、私たちはどのように生き抜くかが問われる社会になると思われます。改めて考えていきたいと思います。

